

第9回HPCものづくりワークショップ開催報告

今年度第2回目となるHPCものづくりワークショップ（通算第9回）を2月23日（金）に東京大学生産技術研究所中セミナー室において開催いたしました。

参加者は合計21名（正会員企業5名、ターボ機械協会6名、非会員1名、東大4名、実行委員5名）でした。

本ワークショップでは一般社団法人ターボ機械協会ターボ機械HPC実用化分委会WGで実施して頂いているボックスファンベンチマーク活動を報告・評価しあうことでHPC技術普及という意味で活動連携を図ることができました。また本活動を流体解析（CFD）だけではなく、構造解析（FEM）にも拡大するためにFEMベンチマークのキックオフを行い、ベンチマーク課題設定の共有化を図りました。

本活動はギブ・アンド・テイクを原則として、相互の調査研究活動の成果を持ち寄り、お互いに報告・評価しあうことにより、活動のメリットを高めてきています。本分野に関心のある会員外の方にも広く参加協力をお願いしております。

主催：スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

共催：東京大学生産技術研究所革新的シミュレーション研究センター

プログラム：

- 企業におけるシミュレーション活用事例の紹介
新日鐵住金株式会社 濱荻 健司
- ボックスファンベンチマークについて
東京大学生産技術研究所 加藤 千幸
株式会社電業社機械製作所 富松 重行
- FEMベンチマークについて
（公財）鉄道総合技術研究所 高垣 昌和
東京大学大学院新領域創成科学研究科 橋本 学
- 国プロ開発アプリケーションの展開
東京大学生産技術研究所 加藤 千幸
東京大学生産技術研究所 吉川 暢宏

